

大臣

次

官

秘

22

亞細亞
信

本年五月二十七日内閣總理、外務、内務、司法、陸軍及大藏各大臣決裁ノ上別紙ノ通り支那人傷害事件慰藉金二十萬圓責任支出ノ件決定相成リ右ニ基キ在支公使館ニ於テ支那側ト商議ヲ試ミ居レル處最近在支太田代理公使ヨリ右責任支出ノ件ハ前内閣當時ノ方針ト異リナキモノト心得然ルヘキヤ問合ノ次第アリタルニ付キ右ニ對シ從來ノ方針ヲ体シ速ニ解決方此上トモ努力スル様回訓スルコトト致

（目録用紙）渡

外務省

S

9600-2

488

17

晴

秋

秋

電信課長

外務大臣

内務大臣

司法大臣

陸軍大臣

大藏大臣

電信案

在支 芳澤公使

第三四七號

貴電第三九九號ニ關シ

警戒責任者處罰ハ往電第二六四號ヲ以テ申進タル通到底詮議ノ餘地

松井大臣

亞細亞局長

電送第4161號
大正13年5月27日 磨5時6分發

松井大臣

外務省

日號用紙

執來ツタ過マテル政策ノ反動ガ、早晚現ハレ來タルニアラザルヤト云フコトヲ恐レテ居ツタ爲ニ、其恐怖ノ念ニ驅ラレテ誇大セル報道ヲ政府自ラノ手ニ依ツテ發表シタト云フコトガ根本ノ原因デナイカト思フノデアアル、(ヒヤク)諸君、私ハ――諸君、私ハ其大震災直後ニ於キマシテ、其時ノ内務省ガ各地ノ地方官ニ宛テ、發シマシタ所ノ電報ヲ此處ニ寫シテ持ツテ居リマス、其電報ハ内務省ヨリ直接各地ノ地方官ニ發送シタルモノデハナク、一タビ使テ以テ船橋無線電信所ニ發送シテ、船橋無線電信所カラ之ヲ各地ニ於ケル鎮守府ヲ通シテ地方官ニ傳達致シタモノデアリマス、而シテ其電信ノ中、特ニ本問題ニ密接ナル關係アルモノダケ三通先ヅ讀上ゲタイト思ヒマス、(謹聽)其一ツハ發信時刻九月三日午前五時三十分、發信者東京局長、宛七州洋惠督、電文「東京附近ノ震災ヲ利用シ在留朝鮮人放火、投擲、其他ノ不逞手段ニ出ントスル者アリ既ニ東京府下一部ノ戒嚴令ヲ施行セルヲ以テ此際朝鮮人ノ動靜ニ付テハ嚴重ナル取締ヲ加ヘラレ且ツ内地渡來ヲ阻止スルヤウ御配慮ヲ相煩シタシ」、第二發信時刻、九月三日午前六時四十分發信者警務局長、受信者鎮守府副官、電文「山口縣知事宛左ノ通り電報アリタシ鮮人ハ不逞ノ行動ヲ敢テセントスリ東京市内ニ於テハ放火ヲ爲シ爆彈ヲ投擲セントシテ頻ニ活動シツ、アルヲ以テ既ニ東京府下一部戒嚴令ヲ施行セントスルニ至リタルガ故ニ貴縣ニ於テハ渡來鮮人ニ付テハ此際嚴重ナル觀察ヲ加ヘ荷モ主義者ナル以上ハ内地陸上陸上禁止シ一方上海ヨリ渡來スル下層鮮人ニ付テハ十分ナル警戒ヲ加ヘラレ機宜ノ處置ヲ執ラレタシ」第三ハ九月三日午前六時、發信者警務局長、受信者各鎮守府、電文「各地方長官ニ左ノ通り電報方取計ヲハレタシ東京地方震災ヲ利用シテ鮮人ハ各地ニ放火シ不

逞ノ目的ヲ遂行セントス既ニ東京市内ニ於テハ爆彈ヲ所持シ石油ヲ注ギ放火セル者アリ既ニ東京府下ニ於テハ一部戒嚴令ヲ施行セラレタルガ故ニ各處ニ於テモ十分ナル觀察ヲ加ヘ鮮人ノ行動ニ關シ嚴密ナル取締ヲ加ヘラレタシ」此三通テアリマス、是ニ於テ諸君ニ中上ゲテ置キタコトハ、此三通ノ電報ハ何レモ九月三日早朝ノ發信トナツテ居リマスガ、此電報ハ何レモ九月一日、或ハ二日ニ東京カラ使ニ依ツテ船橋無線電信所ニ送致セラレタモノデアリマシテ、此電報ヲ發シタル責任者ハ固ヨリ現内閣ニ非ズシテ、前ノ内閣臨時内閣デアツタノデアリマス(拍手)故ニ此電報ノ發信者トシテノ最高責任者ハ其當時ノ内務大臣水野鍊太郎氏デアリシコトハ言フヲ俟タナイノデアリマス、其事ヲ裏書スル最モ明確ナル事實トシテ、本員ハ去ル十一月十二日千葉地方裁判所デ開カレタ千葉縣東葛飾郡法典村自警團ノ騷擾殺人事件ノ公判ニ證人トシテ出廷致シマシタ船橋海軍無線電信所長海軍大尉大森良三氏ノ豫審調査ノ讀ミタイト思ヒマス、其大森良三氏ノ豫審調査ノ一節ニハ、「一日ニ東京ヘ出シタ使三人ガ前後シテ歸リ來リ、海軍、陸軍、内務、大藏各省ノ救助電報、外務省ヨリ各國ニ居ル大使ニ發スル電報、外國人ノ電報等多クヲ頼マレテ來タ中ニ、警務局長カラ山口、福岡ノ兩縣知事ニ宛テ、朝鮮人ガ東京デ暴動ヲシテ居ルカラ、當分朝鮮カラ日本ニ來ル者ハ差止メヨト云フ意味ノモノガアツタノデ、是等ノ緊急信ヲ發送致シマシタ」ト聲明シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ電報ガ其當時ノ内務省ノ最高官カラ發セラレマシタノデ、其命令ニ接シマシタ所ノ各地ニ於ケル地方長官ハ又其命令ヲ管下ノ郡役所ニ傳ヘ、管下ノ郡役所ハ又之ヲ管下ノ町村ニ傳達スルコトニ努メマシタ結果、彼ノ自警團ノ組織ヲ見ルニ至ツタノデアリ

マシテ、自警團ノ組織ハ明ニ國家ノ急ニ應ジ、公共ノ安寧ヲ保持セントスル赤心ニ出デタルモノデアルコトハ一點疑ヲ容レナイノデアリマス(拍手)現ニ多數ノ自警團ガ檢束セラレマシタ彼ノ埼玉縣ヲ見マシテモ、埼玉縣ノ地方課長ガ九月二日ニ東京カラ本省ト打合セテ終ヘテ、午後ノ五時頃ニ歸ツテ來マシテウシテソレヲ香坂内務部長ニ報告ヲシテ、其報告ニ基イテ香坂内務部長ハ官屋屬ヲシテ縣内ノ各郡役所ヘ電話ヲ以テ急報シ、各郡役所ハ其移牒セラレタルモノヲ或ハ文書ニ依リ、或ハ電話ニ依ツテ之ヲ各町村ニ傳ヘタノデアリマス、現ニ浦和地方裁判所ニ於キマシテ大里、兒玉兩郡々書記ガ陳述致シマシタ證書ニ依ツテモ、其移牒電話ハ大體次ノ如キモノデアツタノデアリマス、東京ニ於ケル震災ニ乘ジ暴行ヲ爲シタル不逞鮮人多數ガ川口方面ヨリ或ハ本縣ニ入り來ルヤモ知レズ、而モ此際警察力微弱デアルカラ各町村當局ハ在郷軍人分會員、消防手、青年團ト一致協力シテ其騷擾ニ任ジ、一朝有事ノ場合ハ迅速ニ適當ノ方策ヲ講ズルヤウ至急相當ノ手配相成リタシ」云々ト云フコトデアリマス、斯ノ如ク内務省ノ最高官カラ出タ所ノ命令ガ地方ニ傳ヘラレ、地方長官ガ又之ヲ管下ノ官廳ニ傳ヘマシテ、其結果自治團ノ組織ヲ見ルニ至ツタノデアリマシテ、自警團ニ屬スル人口ノ活動ハ一其平常ヨリ信賴スル官憲ノ報道ヲ信ジ、官憲ノ命令ヲ奉ジタルノ結果ニ過ギナイノデアリマスルカラ、若シ自警團罪アリトスレバ、國法ニ照シテ之ヲ處斷スルコトハ本員固ヨリ之ヲ拒ム者デハナイケレドモ、其自警團ヲシテ其罪ヲ犯サシメタル當時ノ官憲其モノ、責任、亦之ヲ糾彈セザルベカラズト言ハザルヲ得ナイ(拍手)若シ當時此報道ヲ出シマシタモノガ何等ノ責任ナク、此報道ガ事實デアツタトシテ之ヲ許スナラバ、其命ヲ奉ジテ公安維持

2023年6月15日 參議院法務委員會 立憲民主・社民 福島みずほ 出典：『朝鮮人虐殺関連官庁史料』株式会社綠蔭書房 発行より福島みずほ事務所作成

ノ大任ニ當ツタル自警團ノ人々モ亦之ヲ許シ、特ニ罪狀アル者モ亦之ヲ酌量スルガ當然デハナイカト思フノデアリマス(拍手)現内閣ノ總理大臣山本伯ハ本月十二日ニ都下ノ各新聞ニ公ニセラレタ談話ノ中ニモ、又本議會ノ劈頭ニ於ケル御演説ノ中ニモ、震災直後發生シタ不祥事ハ流言蜚語ニ出タルモノデアアルガ如ク言フテ居ラレマス、私ハ之ヲ山本總理大臣ニ賀シタイ、鮮人事件ノコトハ果シテ流言蜚語ニ出タモノデアアルカ若シ流言蜚語ニ出タモノデアリマスルナラバ其流言蜚語ヲ取締ルベキ所ノ、政府自ラ出シタ所ノ此流言蜚語ニ對シテ政府ハ責任ヲ感じナイカ、内閣ハ違ツテ居ツテモ恰モ前内閣ノ締結シタ條約上ノ義務ハ斯ク爾ガ同ジク之ヲ遵守シナケレバナラヌト同ジヤウニ内閣ハ違ツテ居ツテモ前内閣ノ出シタ所ノ流言蜚語ノ爲ニ、多數ノ朝鮮人ガ不幸ナル犠牲トナツタナラバ、同ジ政府當局者ノ共同責任トシテ、之ニ哀悼ノ意ヲ表シ、其犠牲者ノ遺族ニ對シテ之ヲ慰安スベク最善ノ方法ヲ講スルコトハ、即チ政府ノ道德的責任デハナイカト思フノデアリマス(拍手)又若シ之ニ反シマシテ、商人輩外ノ韓道ハ決シテ一箇ノ流言蜚語ニアラズト流言蜚語デナク、明カナル事實トシテ存在シテ居ツタト云フコトデアリマスルナラバ、木員ハ重ねテ總理大臣ニ賀サバルヲ得ナイ、其鮮人襲來ノ如キ事ガ現ハレテ來ル程、朝鮮人ノ内地人ニ對スル思想ヲ惡化セシメタル朝鮮統治上ノ大失態ニ對シテ過去數箇年ニ亘ツテ朝鮮統治ノ衝ニ當ツテ居ツタ政府當局、殊ニ齋藤朝鮮總督ノ責任如何ト云フコトデアアル、是等ノ點ニ付キマシテ政府ハ其態度ヲ明ニスベキモノデアアルニ拘ラズ、今日ニ至ルマデ鮮人事件ニ對シマシテハ何等事實ノ真相ヲ明カニセズ、哀悼スベキ場合ニモ嘗テ哀悼ノ意ヲ表セズ、而モ議員ノ質問ニ對シ

テスラ尙ホ一言答フルコトナキハ、現内閣自ラ前内閣ト共同ノ責任ヲ負擔セントスルモノデアアルト言ハレテモ辯解ノ言葉ハナイデアラウト思フ、此事ニ付キマシテ、私ハ山本總理大臣ノ明白ナル御答辯ヲ煩ハシタイノコトデアリマス、第二ハ支那人ノ誤殺事件ニ關スルコトデアリマス、最近報道セラレレル所ニ依リマス、支那政府ハ支那人誤殺事件ニ關シテ日本政府ノ調査及報告ニ満足セズ、支那政府自ラ調査委員ヲ任命シテ、支那人誤殺事件ノ真相ヲ極メントスルニ至ツタノデアリマス、現ニ去ル十日ノ午後ニ於テ支那人誤殺事件ノ調査委員ニ任命セラレタ王正廷氏一行ノ人ガ外務省ニ外務大臣ヲ訪問シテ、何等カノ挨拶ヲシタ事實ガアリマス、私ハ此事實ハ獨立國ニ取ツテハ、山々シキ大事デアアルト信ズル者デアリマス、支那政府ガ日本政府自ラノ調査及報告等ニ満足セズシテ、自ラ調査委員ヲ任命シテ支那人誤殺事件ノ真相ヲ調査セントスルコト云フコトハ即チ支那政府ガ日本帝國ノ警察權及司法權ヲ信用セズト云フコトデアリマシテ、獨立國トシテ、又法治國トシテノ日本ヲ侮辱スルコト大ナルモノト信ズルノデアリマス、(拍手)曾テ千九百十四年ニ彼ノ埃國ノ皇儲及皇儲妃兩殿下ガ「ボスニヤ」ノ首府ノ「サラエボ」ニ埃キマシテ、塞爾維人ノ爲ニ暗殺サレマシタ時、埃國ノ政府カラ塞爾維ノ政府ニ對シテ其犯罪人ヲ訊問シ、共犯人ヲ調査スル爲ニ埃國ノ代表者ヲ派遣スルコトヲ要求シテ參ツタノデアリマス、其時塞爾維ハ敢然トシテ之ヲ拒ンデ答ヘタ、塞爾維小ナリト雖モ一獨立國デアアル、塞爾維ハ埃國ノ皇室ニ累ヲ及ボシタル塞爾維人ノ犯罪者ヲ調査シ、且ツ訊問スルノ責任ヲ持ツテ居ルケレドモ、其調査及訊問ニ對シテ外國タル埃國政府ノ派遣シタル代表者ヲ參列セシム

ルコトハ、塞爾維憲法及刑事訴訟法ノ斷ジテ許サル所ナリト拒絶致シタノデアリマス、支那政府ガ日本政府ノ支那人誤殺事件ニ關スル調査及其報告ニ満足セズシテ調査委員ヲ派遣スルノハ、日本ヲ治外法權ノ國デアアルガ如キ取扱ヲ爲サントスルモノデアアル、此事ノ爲日本ニ參リマシタ王正廷氏一行ガ外務大臣ニ見エタ時、外務大臣ハ如何ニ之ニ御挨拶ヲ爲サレタカ、其外務大臣ノ御返答ヲ明白ニ承リタイノデアリマス、凡ソ此度ノ支那政府ト日本政府トノ間ニ於ケル支那人誤殺事件ニ對スル意思ノ疎隔ハ、支那政府ガ明ニ場所ヲ指摘シ、其場所ニ就テ調査セラレンコトヲ要求シテ居ルニ拘ラズ、日本ノ外務省ハ十一月八日ト十二月三日トノ兩度ニ亘ツテ、支那人誤殺事件ノ犠牲トナツタ人々ノ、姓名及其場所ヲ報告セラレタケレドモ故意ガ偶然カ支那政府ノ指摘シタル、且ツ支那民間ニ於ケル露々タル議論ノ燒點トナツテ居ル地點ニ付キマシテハ、三箇月ノ久シキニ亘ル今日マデ何等ノ調査ヲ行ハズ、調査シタリトシテモ其結果ヲ發表シテ居ラナイト云フコトガ、其根本原因ヲ爲シテ居ルノデアリマス、現在政府ハ彼ノ大杉榮ヲ暗殺シタ所ノ甘柏事件ノ爲ニモ軍法會議ヲ開イタ、又鮮人事件ニ對シテモ自警團ノ檢舉ヲシテ居ル併ナガラ此隣邦ト日本トノ國交ニ最モ密接ナル關係アル支那人誤殺事件ニ關シマシテ、三箇月ノ久シキニ亘ル今日マデ、支那ガ要求シテ居ル地點ニ對シテ調査シタル事實アリトシテモ其結果ヲ發表シナイト云フコトハ實ニ政府ノ大ナル失態デアアルト言ハレテモ、恐ラクハ辯解ノ辭無カルベシト思フノデアリマス(拍手)我が日本ノ同胞七百ガ、彼ノ「ニコラエウスク」ニ於キマシテ、時ノ露國政府ノ如何トモスルコト能ハザル「バルチザン」ニ虐殺ヲサレマシテサヘ、日本ハ北樺太ヲ保障占領シ、尙且ツ今露西亞政府ニ陳謝ヲ求メテ

官報號外 大正十二年十一月十六日 衆議院議事速記録第五號 國務大臣ノ演説ニ對スル質疑

2023年6月15日 參議院法務委員會 立憲民主・社民 福島みずほ 出典：『朝鮮人虐殺関連官庁史料』株式会社緑蔭書房 発行より福島みずほ事務所作成